



元気いっぱい、笑顔いっぱい、活力みなぎる 朝二の子

# 朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL 048-461-0042 FAX 048-467-4735  
E-mail 2shou@asaka-c.ed.jp ホームページ <http://www.asakada2shou.city-asaka.ed.jp>  
令和2年10月 1日(10月号) 児童数 700名 (9/28現在)

## 環境問題について考える

- 地球温暖化防止に向けて -

児童会の目標 『二小のひまわり』

①との役に立つ ②まわりと助け合う ③わらってあいさつ ④りっぱな心

校長 谷井 喜信

お彼岸が過ぎたら、すっかり涼しくなりました。今頃の季節を表す言葉「秋澄む」は秋の澄んだ空気のこと、「水澄む」は透明感のある秋の水のことを言うそうです。空気も水も澄んで爽やかな季節の中で、二小の子供達は勉強や運動に一生懸命取り組んでいます。ここの所、「大きな声で笑顔のあいさつ」ができる児童も多くなってきています。今月末の運動発表会での活躍を今から楽しみにしています。



【4年：防災教育】

ところで近年、毎年のように豪雨などによる甚大な人的被害や住宅の被害が発生しています。今年の7月豪雨では、熊本県球磨川流域などに大きな被害をもたらしました。少し遡ると「平成30年7月西日本豪雨」、「平成27年9月関東・東北豪雨」、「令和元年東日本台風」では、荒川水系の都幾川・越辺川が埼玉県東松山市・川越市内で決壊しました。こうした自然の脅威が、私達の想像をこえる規模で、更に増していくと予測されています。



【5年：環境教育】

先月4年生は、社会科の学習で体育館前の防災倉庫の中を見せていただきました。何が入っているのか子供達は興味津々です。市役所の危機管理課の方から、倉庫にある物品や非常災害時の対応について説明を受け、学びを深めていました。5年生は総合的な学習の時間で「環境問題」をテーマに学習しています。総合的な学習の時間というのは、「探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てる」ことを目標にしています。1学期は「いっしょにエコ日記(2週間)」に取り組み、学年全体で121,942Lの水を節約しました。この節水活動によって水の不足している地域(ベトナムのアンザン省の学校)の浄水器の設置に役立ったそうです。また、先月始めには、埼玉県地球温暖化防止活動推進員の清水克己様をゲストティーチャーに招いて、温暖化の主な原因をはじめ、コンクリートと土の温度の違いや打ち水の効果、気候変動による島の水没、省エネや食品ロス削減など、たくさんのお話を学びました。学習後の子供達の感想を紹介します。

・南極や北極の氷が溶けていることは知っていたけれど、二酸化炭素の増加により地球温暖化が進んでいるとは知りませんでした。7・8月は去年やおととしに比べて暑かったし、今年の梅雨はなかなか終わらなかったので変だなとは思っていましたが、それが異常気象だったんだとなっとくしました。それから木の話もしてもらいました。木などの緑は二酸化炭素を吸収して酸素を出すという働きをします。すごいなと思います。地球温暖化の話は興味深くておもしろかったけれど、それと同時にこわいとも感じました。これから二酸化炭素をなるべく出さないように努力して、地球温暖化を止めたいです。

・ぼくは、今日の勉強で地球温暖化について知りました。地球温暖化という言葉は知っていたけれど、意味はよく知りませんでした。地球温暖化とは二酸化炭素が多くなって地球が暑くなっていくことです。それにより、南極や北極の氷が溶けて海面が上昇したり、落雷などによって山火事が発生したり、バツタの大量発生によって農作物に影響を与えたり、海水温度が高くなってスーパー台風が日本をおそったりと、私達の生活があやうくなってしまいます。ヨーロッパでは49.5度、アメリカのカリフォルニアでは54.2度まで気温が上がったそうです。このようなことが起こってしまうと最終的には地球に人が住めなくなってしまいます。今日からぼくは、「わが家の省エネチャレンジ」にがんばって取りくんでいこうと思います。

授業の終わりに清水様から「省エネチャレンジシート」をいただき、省エネ活動に30日間、学年でチャレンジします。具体的には、①冷蔵庫を開ける時間を減らそう②エアコンを適切な温度設定にしよう③使わない部屋の照明を消そう④見ていないテレビは消そう⑤シャワーは出しっぱなしにしない⑥自分オリジナルで考えた省エネ方法に取り組み、エコタイムスにまとめて発信します。このような学習を通して、環境への理解を深め、環境を大切にしたい心と態度を育成し、環境保全に向けて主体的に行動できる実践的な態度や資質・能力を育てていきます。私達の住む緑の地球をいつまでも。